

# ごあいさつ

## 青森県農業協同組合中央会

代表理事会長 **雪田 徹**



第42回青森県「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに、たくさんのお応募をいただき、ありがとうございます。

入選された皆様には、心からお祝い申し上げます。

今回で42回目を迎えたこのコンクールは、お米・ごはん食の大切さを、小中学生の皆さんに理解していただくことを目的に毎年実施しているものです。

さて、今年度は、県内各小中学校から作文244点、図画207点、合わせて451点のお応募をいただきました。

応募いただいた作品を見ますと、ごはんが大好きだという気持ちや、部活動での仲間や家族との楽しい食事の様子、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなど、皆さんの素直で自由な作品に感心させられました。

私たちの食生活の変化によって、ごはんを食べる量は毎年全国で約10万トンずつ減少し、小麦や大豆、牛肉など外国から輸入される農畜産物が食卓にならぶ割合も増えています。

国ごとに消費される食料のうち、どれくらいの食料がその国で生産されているのかを割合で示す日本の「食料自給率(カロリーベース)」は、令和4年度、わずか38%と先進国の中でも最低の水準となっております。

こうしたなか、JAグループでは消費者や次代を担う小中学校の児童・生徒の皆さんを対象とした各種イベント・体験学習などを通じて、お米を始めとする農業・農村の役割や重要性を理解していただくための食農・食育活動を行っております。

今後とも、子どもたちの健やかな成長と豊かな心を育むために、「食」・「農」の大切さを伝えてまいると思いますので、県内の小中学校の先生方をはじめ、関係者の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ● 作文部門入賞作品

- 作文部門三賞
- 青森県知事賞……………1
- 青森県教育委員会教育長賞……………2
- 青森県農協中央会会長賞……………3

- 優秀賞
- 作文部門1部 小1～小3(5名)……………4
- 作文部門2部 小4～小6(5名)……………9
- 作文部門3部 中1～中3(5名)……………14

### ● 図画部門入賞作品

- 図画部門三賞
- 青森県知事賞……………19
- 青森県教育委員会教育長賞……………20
- 青森県農協中央会会長賞……………21

- 優秀賞
- 図画部門1部 小1～小3(5名)……………22
- 図画部門2部 小4～小6(5名)……………24
- 図画部門3部 中1～中3(5名)……………26